

地域で「生きる力」を育む



学校教育課

辻 真佐美副主幹

辻 私も教員としての現場経験があり、今まで多くの子どもたちを見てきました。子どもたちは5日間で地域の人たちから多くのことを学び吸収します。トライやる・ウィークを終え、学校に戻ってきた子どもたちは、何か新しいことに挑戦してみようという姿が見られ、成長を感じますね。この経験を通して、子どもたちは感謝の心を育み、自分らしい生き方も見つけていきます。

トライやる・ウィークの「トライ」は「トライ」（挑戦）という意味だけでなく、「トライアングル」（学校・家庭・地域の三者）が一体となって子どもたちを見守り、育てていこうという思いが込められています。快く受け入れてくださる地域の事業所さん、まちのみなさんのご協力により実施できており、大変感謝しています。

特派員 子どもたちはトライやる・ウィークを通して、職業体験を行うだけでなく、多くのことを学んでいるんですね。辻さん、ありがとうございました。

事業者のみなさんへ！

継続・新規にかかわらず、来年度以降もご協力いただける事業者の皆さんを募集します。（募集は広報12月号に掲載予定）

【編集後記】
どの事業所さんも「子どもたちが安全に楽しく活動できるように」と配慮していることが伝わってきました。地域全体で子どもたちを見守ることに、いち保護者である特派員も感謝の気持ちでいっぱいになりました。

森田牧場（中谷中学校）



エサ用の牧草の収穫は楽しいけど重労働。仕事は楽しいだけでなく、大変なことなんだと実感しました。

5日間牛と関わって、色んな性格の牛がいることがわかりました！

体験をして、ますます動物関係の仕事に就きたいと思いました。

牛のお世話って大変！ 人と一緒に信頼関係が大切なんだね。

事業所の声

多くの体験をさせてあげたいので、事前準備には頭を使いますが、充実した時間を過ごしてくれたら嬉しいという気持ちで受け入れています。



ベーカリー&カフェ コネ（六瀬中学校）



働くって、思ったよりもずっと大変で、お母さんが「疲れた」と言うのがよく分かりました。

1つのパンにたくさんの人に関わっていることが分かり、今まで以上に大切に食べようと思いました。

「お待たせしました！」 常連のお客さんへの対応もバッチリ！

事業所の声
生徒のみなさんに仕事を教えていると、普段忘れてしまっていることに気づきます。自分自身も初心に返って気を引き締めようという気になりますよ。



ホームセンターDCMダイキ（猪名川中学校）



水やりや枯れた花の摘み取りなど、見えないところの仕事の大切さを知りました。

大切な商品のお手入れ、朝は植物のお世話から。



事業所の声
お客さんも従業員も「頑張れ」と、わが子を見守るような気持ちで応援しているの、この期間は全体的に優しい空気が生まれます。



いながわ 特派員報告

トライやる・ウィーク ～子どもを育む地域力～

5月に、町内の中学2年生が「トライやる・ウィーク」で職業体験をしました。今年で22回目となる本事業。「またこの時期がきたのか～」と、風物詩のひとつに感じておられる人も多いのでは！

「トライやる・ウィーク」について学校教育課 辻さんに聞き、体験をした子どもたちの頑張りを取材してきました。

▶問合せ 学校教育課 ☎ 766 - 6006

特派員 辻さん、「トライやる・ウィーク」について教えてください。
辻 「トライやる・ウィーク」は、地域で行う職業体験のことで、県内の中学2年生を対象に平成10年から毎年実施しています。
特派員 実際の現場で、お仕事を体験できるとのことですね。
辻 そうなんです。今年度は、町内の3中学校の生徒355人が地域の企業・官公庁・商店などのべ99カ所に分かれて様々な体験をさせていただきました。
特派員 なぜ中学生でこのような体験をする中学生は、心も体も大きく成長する時

期です。その一方で自分の将来に悩む時期でもあるんですね。そんな不安定な時期だからこそ、体験などを通して子どもたち一人ひとりの「生きる力」を育み、心を豊かにするための教育の一環として、この事業を行っています。
特派員 大事な時期に学校の勉強だけでなく、地域の中でも学ぶ機会があるんですね。
辻 そうなんです。子どもたちは、地域の事業所などで様々な体験を通して、豊かな感性や創造性などを高めていきます。
特派員 では、「トライやる・ウィーク」の様子をみましょう！

大きなカメにみんな興味津々



▲6月7～10日、イオンモール猪名川で「環境展」を開催しました。6月の環境月間にあわせて開催した同イベントでは、水生生物の観察やペットボトルを使った回り燈籠のワークショップを実施。生き物の観察などを通して子どもから大人まで、環境について身近に感じる機会となりました。

サッカーのコツを学ぼう！



▲5月25日、町スポーツセンターでヴィッセル神戸サッカー教室を開催しました。当日は、約120人の小学生が参加し、普段聞けないプロのコーチからのアドバイスに一生懸命耳を傾けていました。子どもたちは、「ロングパスの出し方や蹴り方を教えてもらったよ！」などと、笑顔で話してくれました。

大自然の中を全力疾走！



▲6月2日、大島地区の活性化を目的に行われている、「いながわ里山猪道トレイルラン」が開催されました。今回は第5回大会を記念して、スーパーワイルドコース(39km)が新たに設けられ、完走を目指し29人が挑戦。当日は、全国各地から約400人のランナーが参加し、里山を駆け抜けました。町出身でトレイルランナーの大瀬和文さんもゲスト参加し、大会を盛りあげました。

全国大会も頑張るぞ！



▲5月30日、少年野球大会で優秀な成績を収めた「猪名川ヤンキース」の選手13人、監督、コーチなどが町長を訪問しました。同チームは、5月3～5日に行われた「高円宮賜杯 第39回全日本学童軟式野球大会 マクドナルドトーナメント 兵庫県予選会」で優勝し、8月に行なわれる全国大会への出場を決めました。訪問した選手たちは、全国大会での更なる活躍を誓ってくれました！

さらにステキな大野山へ♡



▲6月11日、大野アルプスランドがプロポーズにふさわしいロマンチックなスポットとして「恋人の聖地」に選定されたことを受け、福田町長が銘板授与式に出席しました。夜景と満天の星を楽しめる情景を活かし、「恋人の聖地」として多くの人に訪れてもらえるよう、新たな魅力づくりに取り組んでいきます。

▶6月2日、文化体育館で「2019 健康福祉まつり」が開催され、約1,000人が来場しました。血管年齢測定や肺年齢測定、歯科検診や健康相談などで現在の自分の状態を調べたり、スポーツ吹き矢、薬剤師体験コーナーなども行われ、大人から子どもまで楽しみながら健康と福祉について考える機会となりました。

ホタルのイベントを楽しもう！



6月8日、ふるさと館で「2019 ほたるのタベ」が開催されました。ほたるの学習会では、参加者がホタルの生態などについて学び、「ほたる博士」を目指してクイズに挑戦！ 芝生広場ではミニコンサートも行われ、来場者は楽しいひとときを過ごしました。

ふおとにゅ〜す

体のことを考えよう！

